

登録コード	E6200900	開講年度	2026				
授業科目	視覚障害教育総論					担当教員	佐藤 将朗
英文授業名	Introduction to special needs education for visual disability					副担当	下山 真衣
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	2、3年生
講義室	教育N 3 0 1 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	視覚障害児教育の全般的理解を図るとともに、視覚障害児の教育に携わる際に必要とされる基礎的知識の習得を図る。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	視覚障害児教育の全般的理解を図るとともに、視覚障害児の教育に携わる際に必要とされる基礎的知識の習得を図る。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働、健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	特別支援教育における視覚障害教育の役割, 視覚障害児の教育課程, 心理特性, 指導法, 視覚障害者の就労と生活等の内容を取り上げ, それらの概要について教育学的, 心理学的な観点から講述する。						
(5)授業計画	第1回：特別支援教育における視覚障害教育 第2回：教育課程 1（特別支援学校における教育） 第3回：教育課程 2（小・中学校における教育） 第4回：心理特性1（視覚系の構造） 第5回：心理特性2（眼疾患） 第6回：心理特性3（視覚検査法） 第7回：心理特性4（認知特性） 第8回：心理特性5（表現特性） 第9回：心理特性6（運動特性） 第10回：指導法1（弱視児の読み書き） 第11回：指導法2（読み） 第12回：指導法3（書き） 第13回：指導法4（歩行） 第14回：就労と生活 テスト・授業アンケート ※教育実習による欠席については、各学生の欠席回の授業に相当する課題研究を提示する。						
(6)成績評価の方法	最終授業でテストを実施し、評価する。・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	テスト(記述式)の内容において、 (i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある（可）」。						
(8)事前事後学習の内容	集中授業で行うため、授業日毎に事前事後学習の課題が与えられる。この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	特になし。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問、相談については、連絡の上、下山研究室（E202）に来室するか、メールアドレス：mshimoyama@shinshu-u.ac.jp まで連絡ください。						
【教科書】	毎時間配付される資料をテキストとして用いる。						
【参考文献】	授業の中で、各内容に応じて紹介する。						